

古墳時代I(古墳と大和政権)

学習日 月 日

点

- 1 3世紀後半から造られ始めた権力者の墓について、次の文章を読んであとの各問いに答えなさい。

3世紀後半になると、各地に王や豪族(ごうぞく)の墓である(A)が造られるようになりました。とくに近畿(きんき)地方を中心とする地域には大きな墓が多く、強い力をもつ大和政権が生まれていたことがわかります。墓のまわりや頂上には、人や馬の形などをした(B)が置られました。

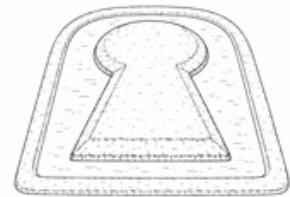
- ① 文章中の(A)、(B)にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

A () B ()

- ② 右の図のような、四角い部分と円い部分を合わせた形の墓を何といいますか。

漢字で答えなさい。

()



- ③ ②の形で、大阪府の堺(さかい)市にある日本で一番大きな墓を何といいますか。

()

- ④ 墓の中に、死者とともに葬(ほうむ)られた鏡や武器、玉などの宝物をまとめて何といいますか。

()

- 2 大和政権の広がりについて、次の各問いに答えなさい。

- ① 埼玉県の新倉山(いなりやま)古墳と、熊本県の江田船山(えだふなやま)古墳から発見された鉄剣(てっけん)や鉄刀には、どちらも共通する王の名前が刻(きざ)まれていました。この王の名前をカタカナで答えなさい。

()

- ② 埼玉県の新倉山古墳と熊本県の江田船山古墳から同じ王の名前が見つかったことから、当時の大和政権についてどのようなことがわかりますか。「九州」と「関東」という2つの言葉を使って説明しなさい。

()

- ③ 5世紀ごろの日本のようすについて、中国の歴史書には「倭(わ)の五王」が使いを送ったとされています。このうち、「武(ぶ)」とよばれた王は、①の王と同じ人物だと考えられています。この王たちが中国に使いを送った主な目的は何ですか。次から1つ選びなさい。

ア. 仏教の経典を手に入れるため

イ. 中国の皇帝(こうてい)に日本の支配者として認めてもらうため

ウ. 漢字の書き方を教わるため

()

解答

- 1 ① A 古墳(こふん) B 埴輪(はにわ)
② 前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)
③ 大仙(だいせん)古墳 (または 仁徳(にんとく)天皇陵(てんのうりょう)古墳)
④ 副葬品(ふくそうひん)
- 2 ① ワカタケル
② (例) 大和政権の支配が、九州地方から関東地方まで及(およ)んでいたということ。
③ イ